



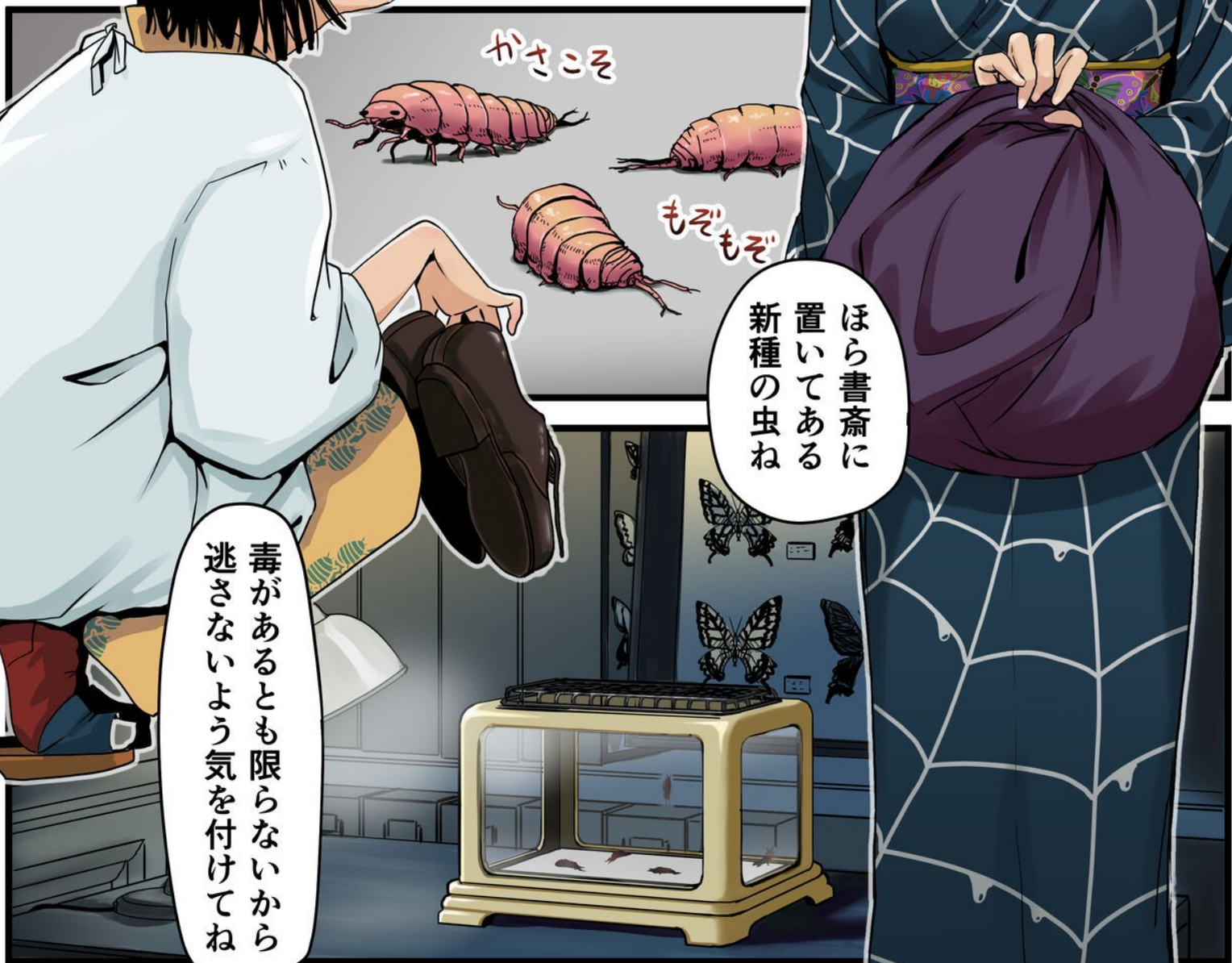
では
明日の午迄には
戻るよ



はいそれじゃ
お気をつけて

ああそうだ
梅ちゃん

はい？



かきこそ

もぞもぞ

ほら書齋に
置いてある
新種の虫ね

毒があるとも限らないから
逃さないよう気を付けてね

淫
気
の
虫

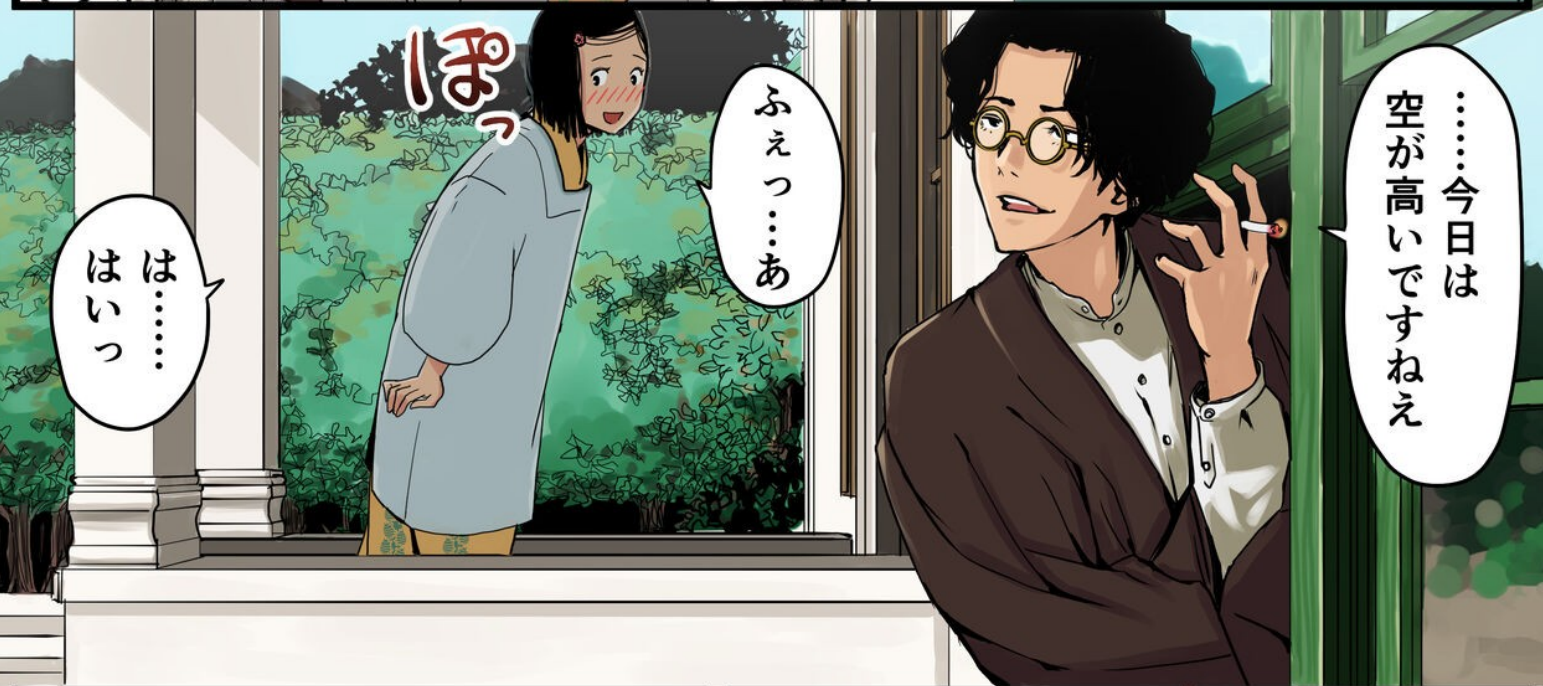


制作 東小岩ふともも宇宙研究所



おや先生
また新種探しの旅ですか

いや今日は学者同士の
つまらない寄り合いさ
留守を頼むよ白岡君



……今日は
空が高いですねえ

ふえっ…あ

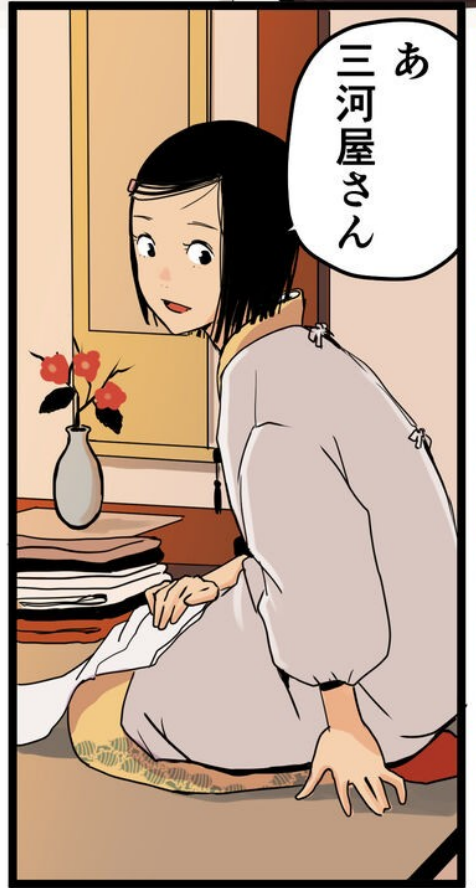
ほっ

は……
はいっ



私が出るわ梅ちゃん

ああお願いします
奥さま



あ
三河屋さん



コンチハ



毎度ありっ



ああ待って三河屋さん
追加で1本
お願いしようかしら



酒と醤油が
1本ずつ……とっ



へいっ
何を
ご所望で?
……



へへ?
?

ちんぽ

そっ



まあ
桜色の
きれいな
ちんぽ……



ちよちよちよちよつ……!!

ななな
何するんで?
お内儀さん……



もっときれいに
して差し上げましょ



しゅるるる
三河屋さんの
ちんぽ1本
頂くわ

がさっ
ずるるる
ぽろんっ



んくツ…!!
で…出っ!!

どいっ
びゅっ

きゃっ……



まっ

はっ

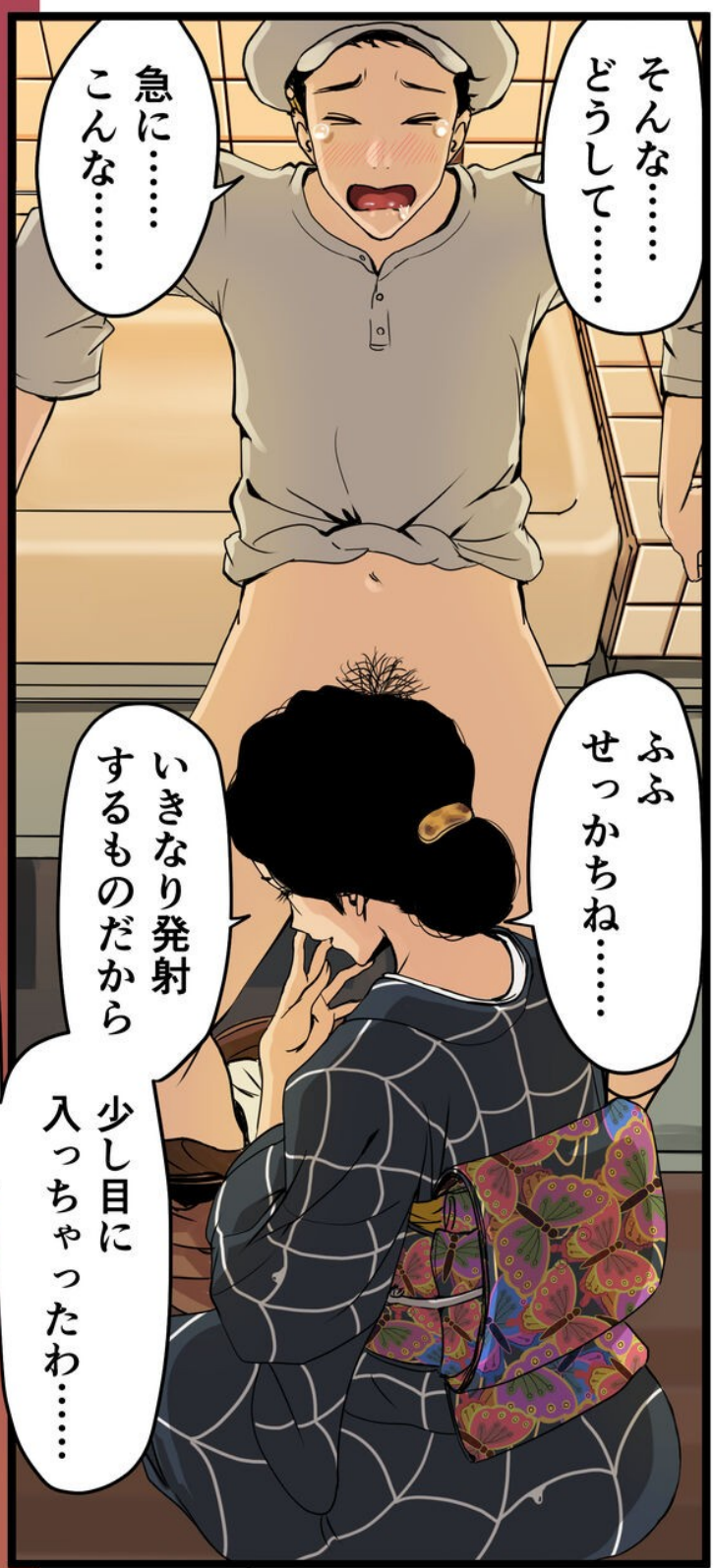
はい

あろんっ

もちろん……

もさっ

これで終わりでは
無いんでしょう三河屋さん……



そんな……
どうして……

急に……
こんな……

ふふ
せっかちね……

いきなり発射
するものだから

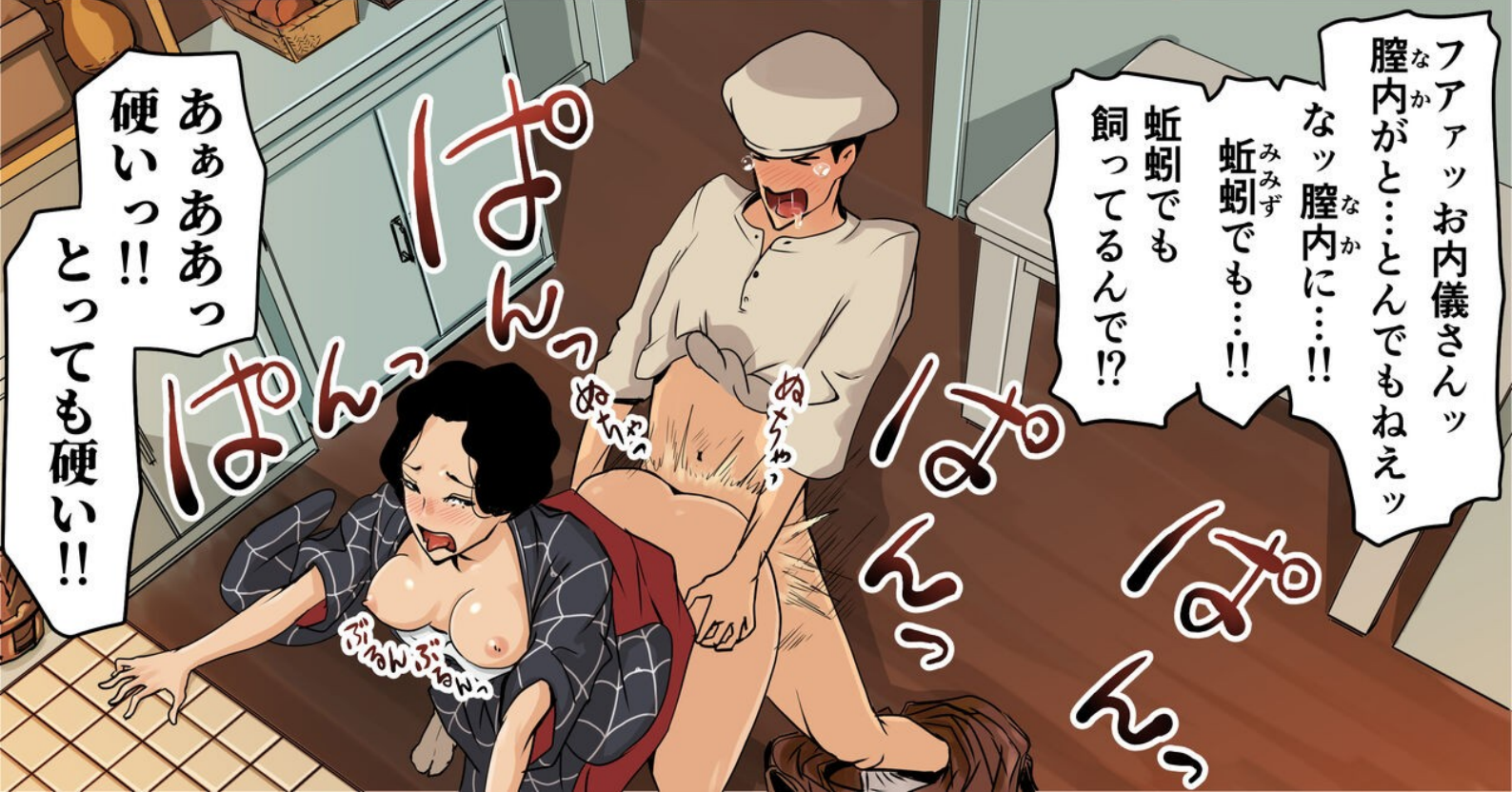
少し目に
入っちゃったわ……

そ…そんな…
射精したばっかりなのに

それにお内儀さん
俺…俺まだ
女あ知らないんで

違う
そこは肛門

もう少し下…そう
其処…



フアアツお内儀さんッ
腔内がと…とんでもねえッ
なッ腔内に…!!
みみず
蚯蚓でも…!!
蚯蚓でも
飼ってるんで!?

あぁあぁっ
硬いっ!!
とんでも硬い!!

はぁんっ
はぁんっ
はぁんっ

ああ三河屋さんの
ちんぽ硬い!!
酒瓶より硬いっ!!

それにこのちんぽ
とっても
良い形態かたちいっ!!

お
お内儀さんっ…

気持ち良すぎて
おかしくなっちゃ
まう………!!

ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ

はわわ

もっと速く強く!!
突き上げて!!

ああ本当に
良いちんぽ!!



不潔です……
あんな他所よその男と……

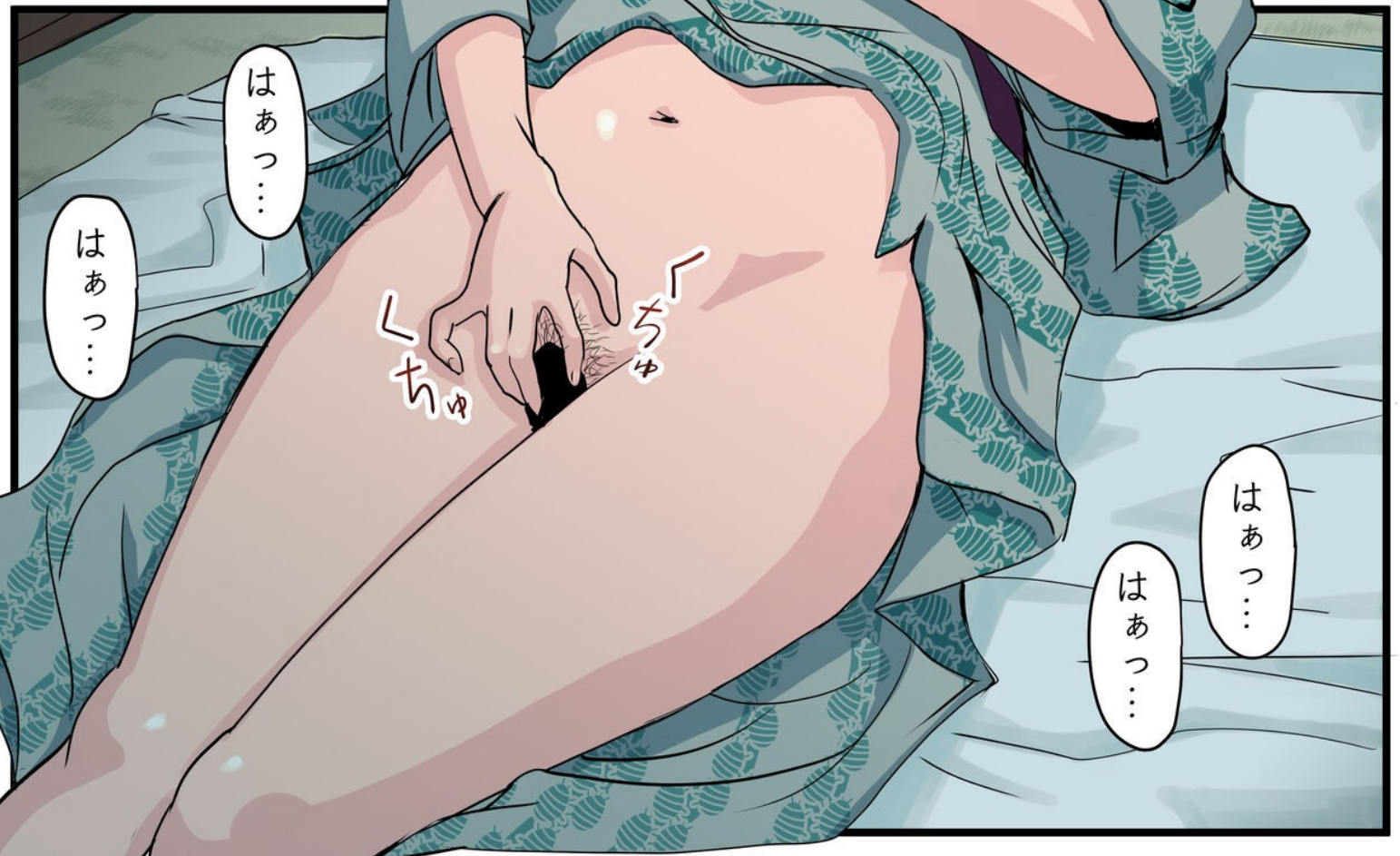


あんなお相かお貌おなさって……

不潔です……

はっ
はっ
はっ

くぐ
くぐ



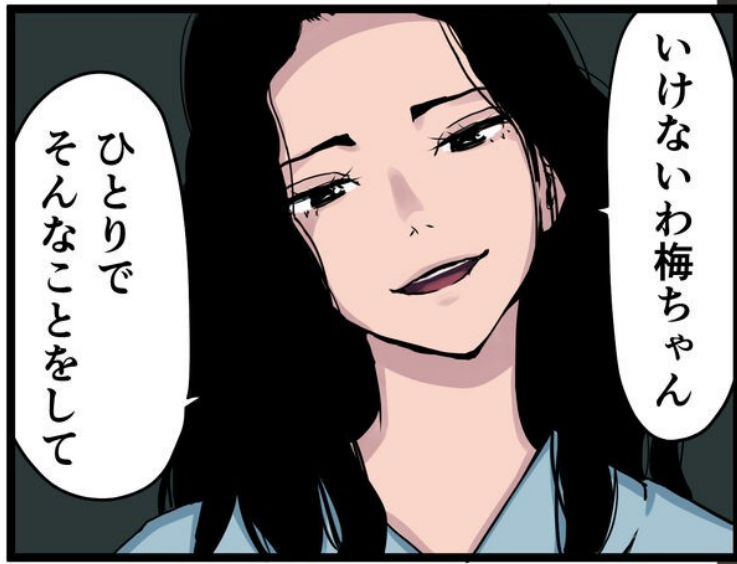
はあっ……

はあっ……

しゅ しゅ

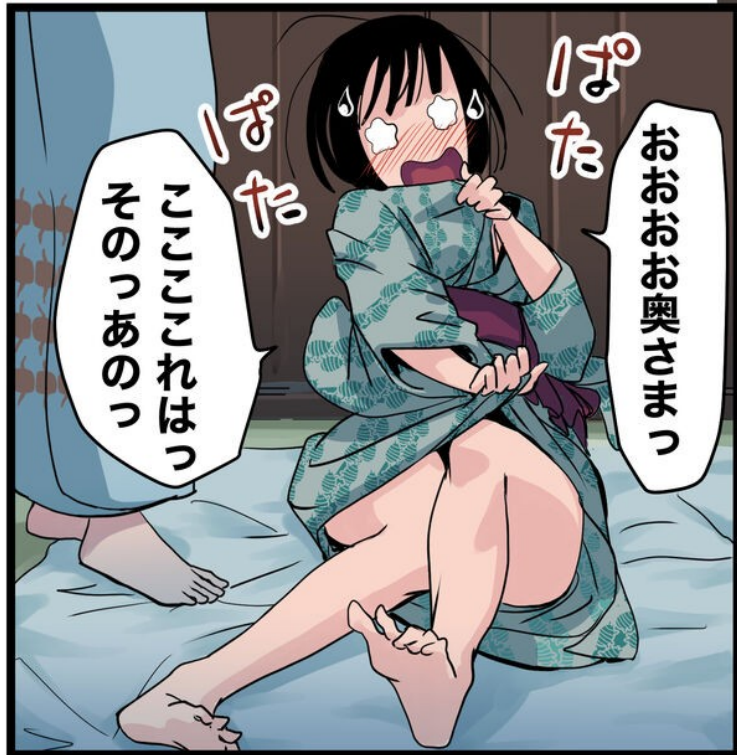
はあっ……

はあっ……



いけないわ梅ちゃん

ひとりで
そんなことをして

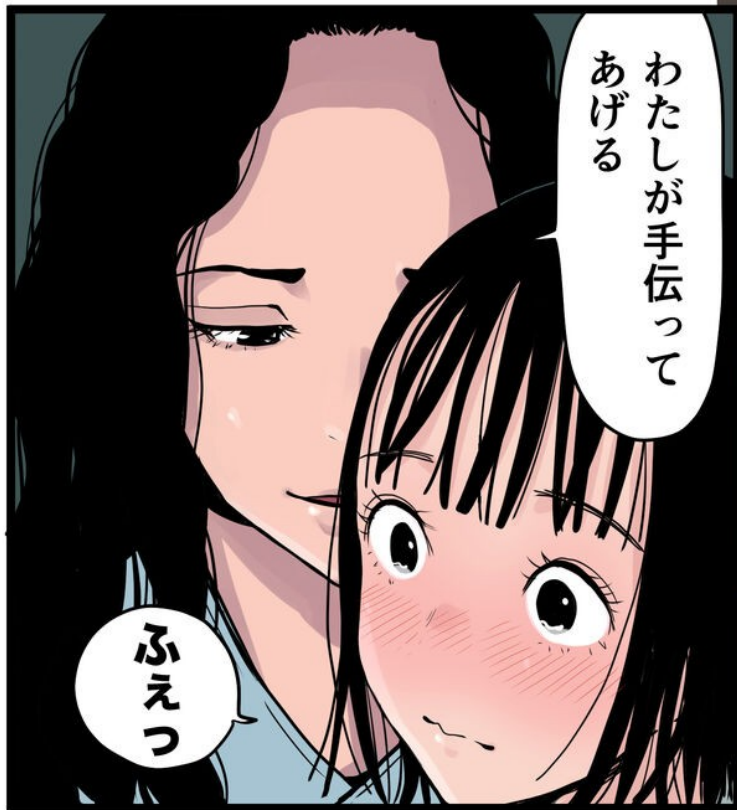


おおおお奥さまっ

ぽた

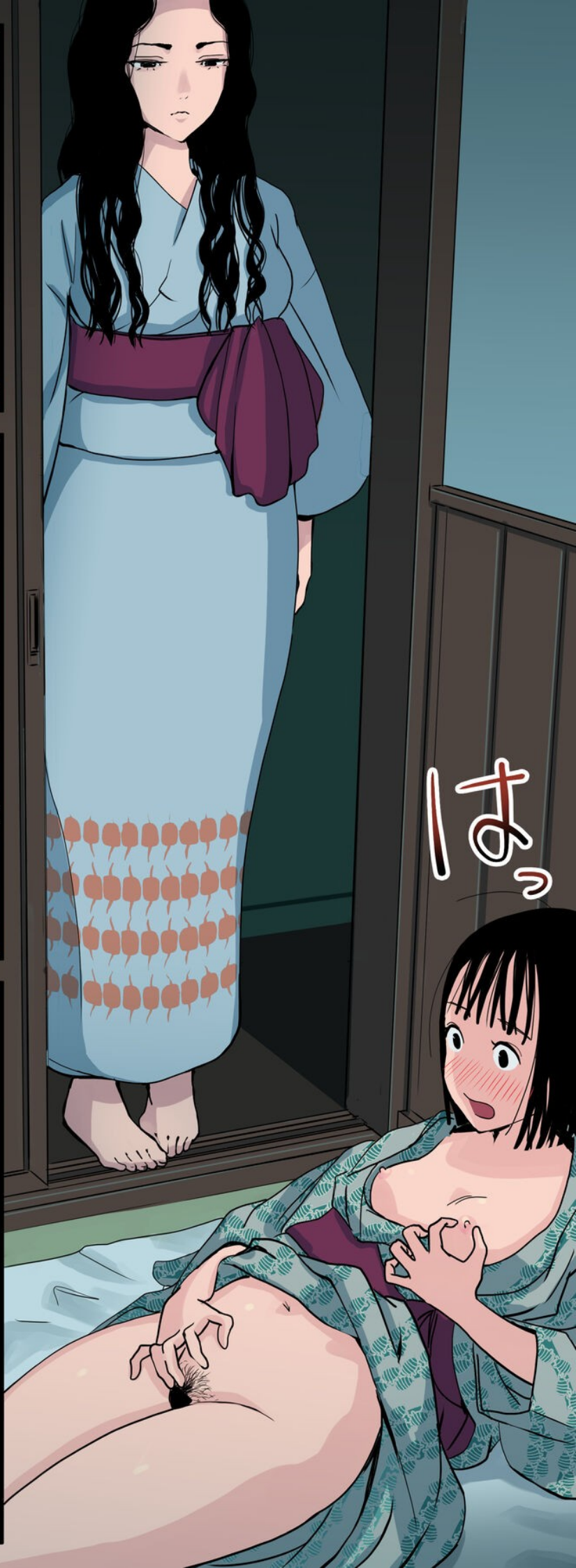
ぽた

こここれほっ
そのっあのっ



わたしが手伝って
あげる

ふえっ



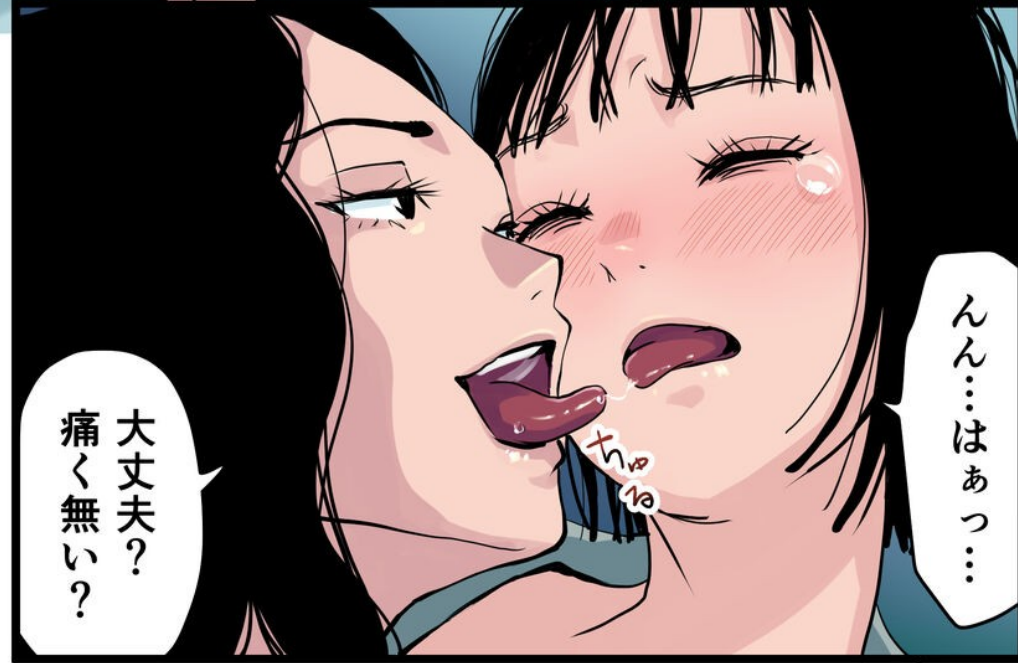
はっ

ふふふ
かわいいわ
梅ちゃんの
乳首……

お……
奥さま……
だめ……
あ……
ん……
ほ……
本当に……
やめ……



梅ちゃん
わたしさっきね
爪を切ってきたのよ
深爪がすぎるくらい

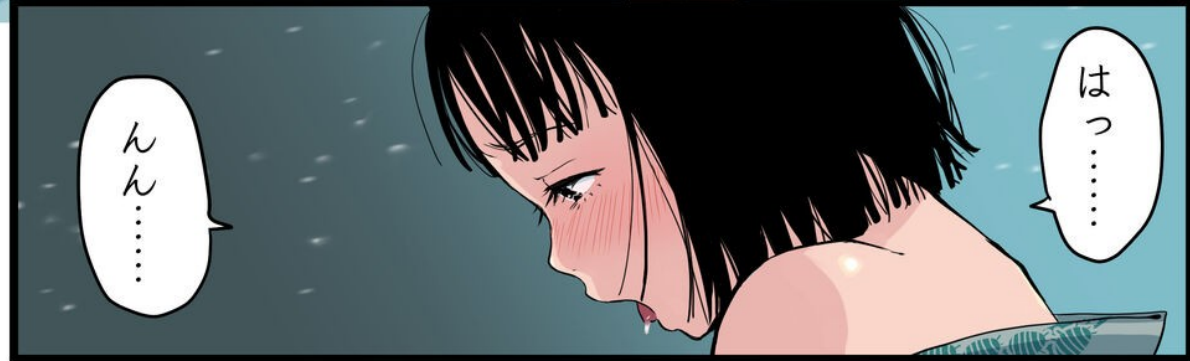


大丈夫？
痛く無い？

んん……はあつ……



ほら……
ね……



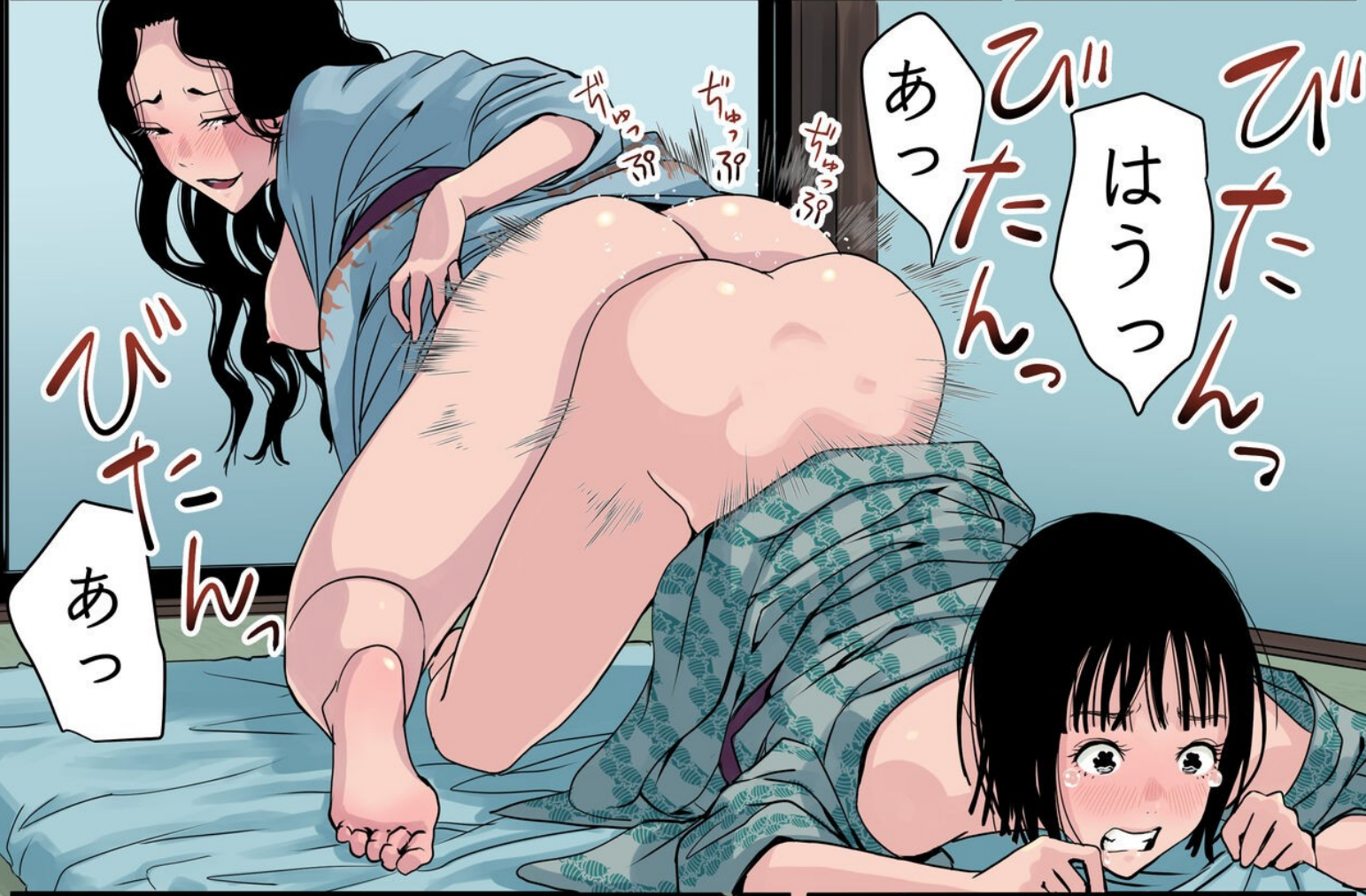


き…気持ち良くなつてきま…した…

は…ん…はい…



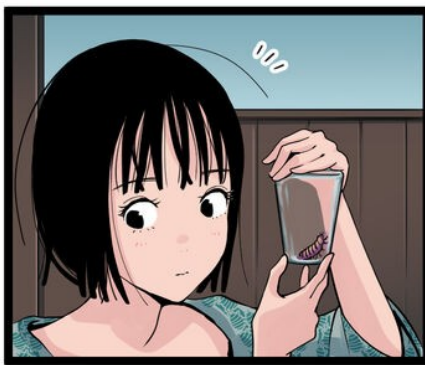
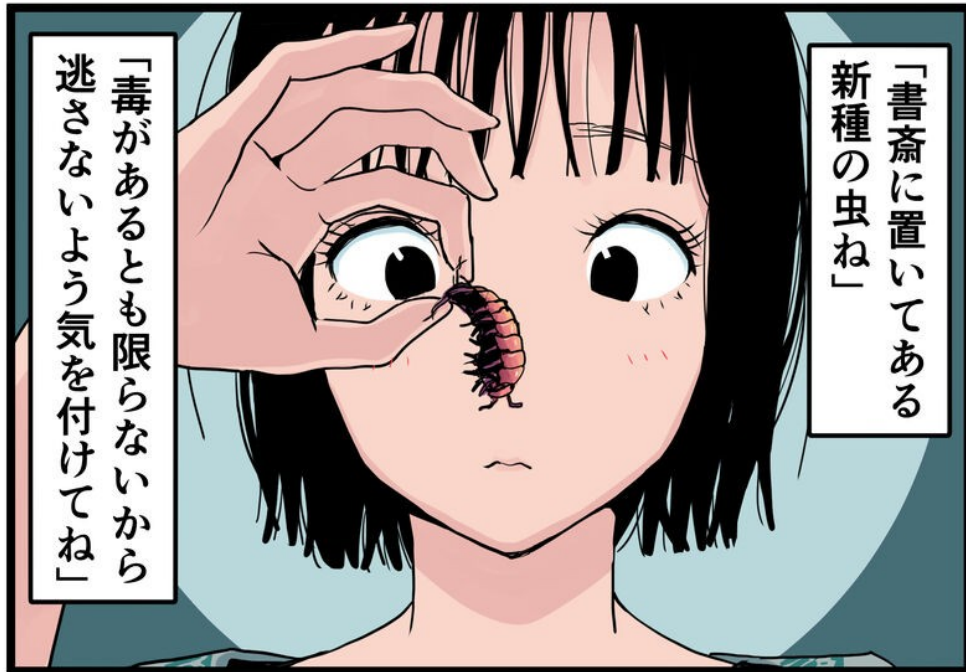
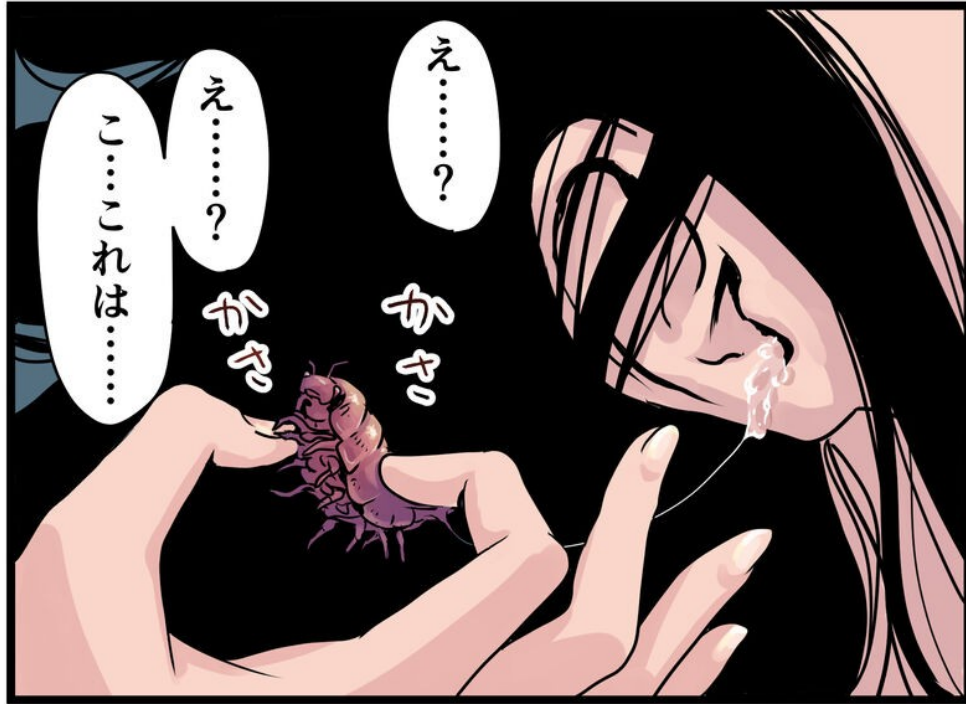
大丈夫 梅ちゃん
ちやんと 気持ち良い…？



私…奥さまとこんな…

こんないやらしいこと…







うん
特に異常は無い

余程^{からだ}躰に
無理をしたのか
疲れが溜まってる
ようだね



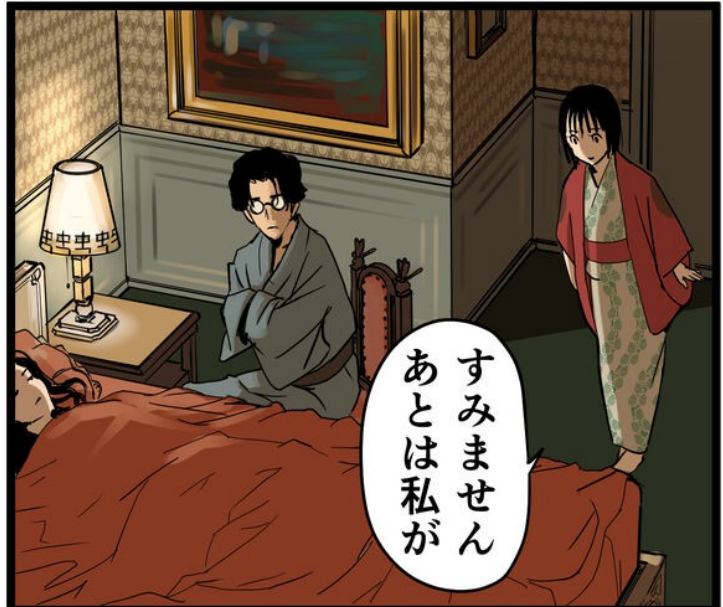
ああ……
蓋が少しずれてる

旦那さま
おっしゃ
ご自分で仰有って
おいて不用心な……



……矢っ張り
この虫の所為に
違くない

だって奥さまがあんな
淫乱なわけないもの



すみません
あとは私が



みゃ

それではお梅さん
僕は休ませてもらいます

まあ兎に角
大事がなくて
良かった

は……
はい……

しかしこんな夜分に
ふたりで何をしていたのです？
しかも女中部屋で

いやそのあの
おっ女同士のお喋りを……



あああ……あ……
あの……

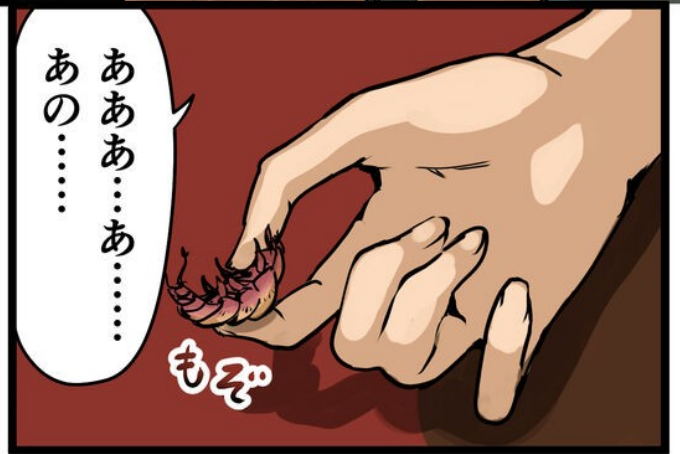
あの……書生さん

み……

耳の辺りに
塵が付いて
ます



もぞ



どきどき
どきどき

どきどき
どきどき

ずるずる……

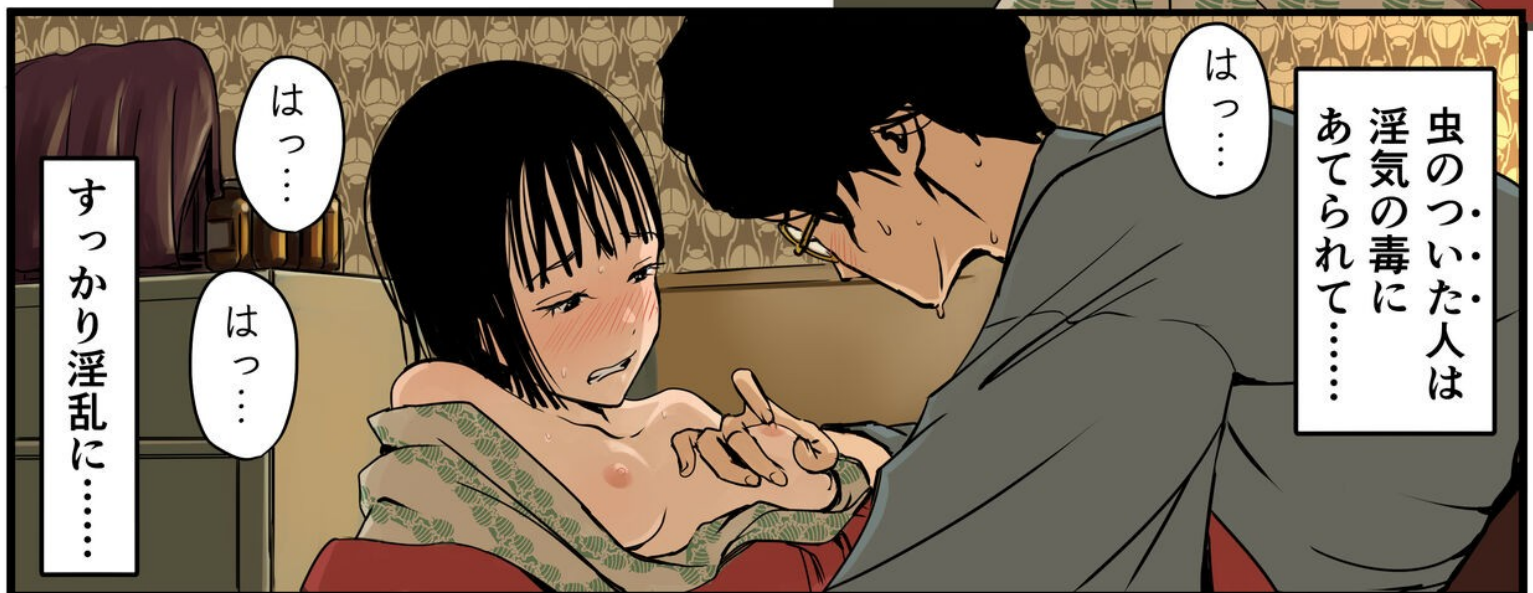
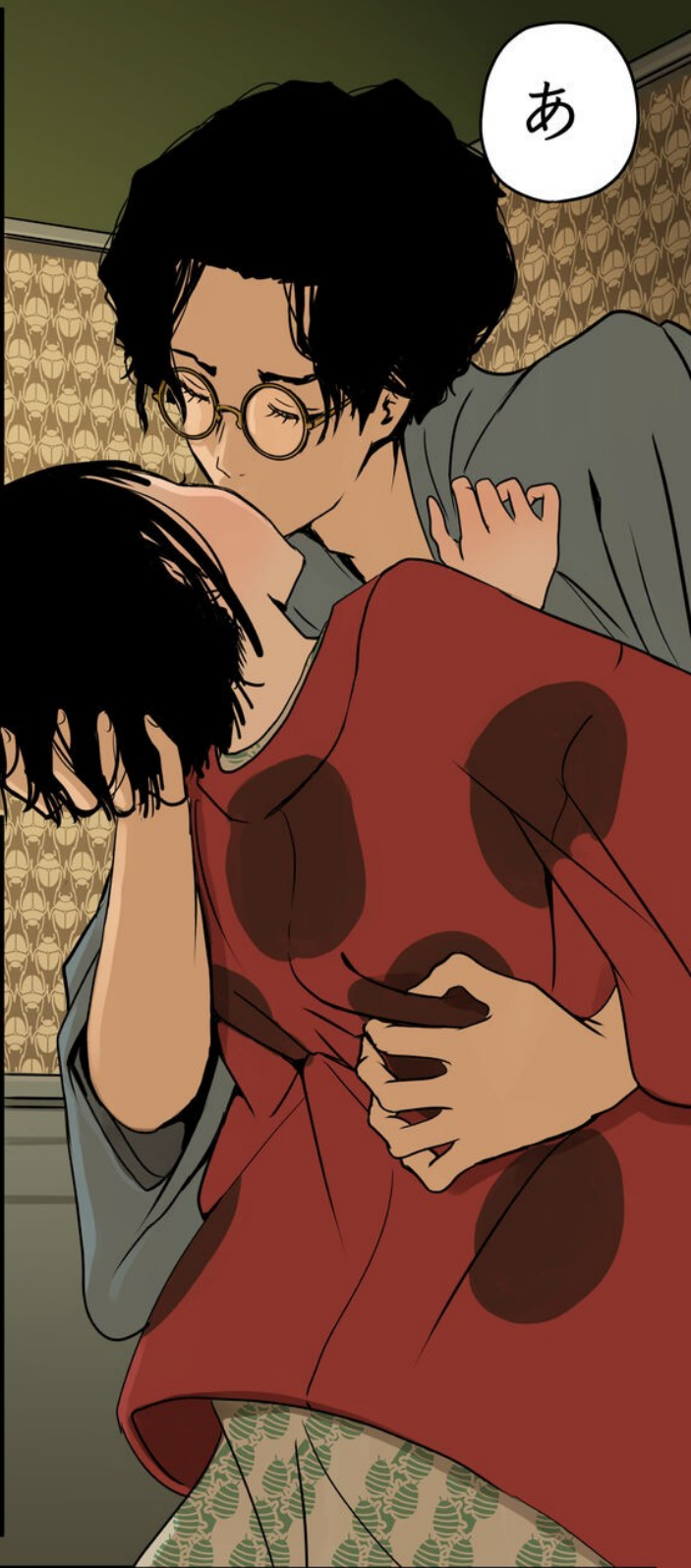


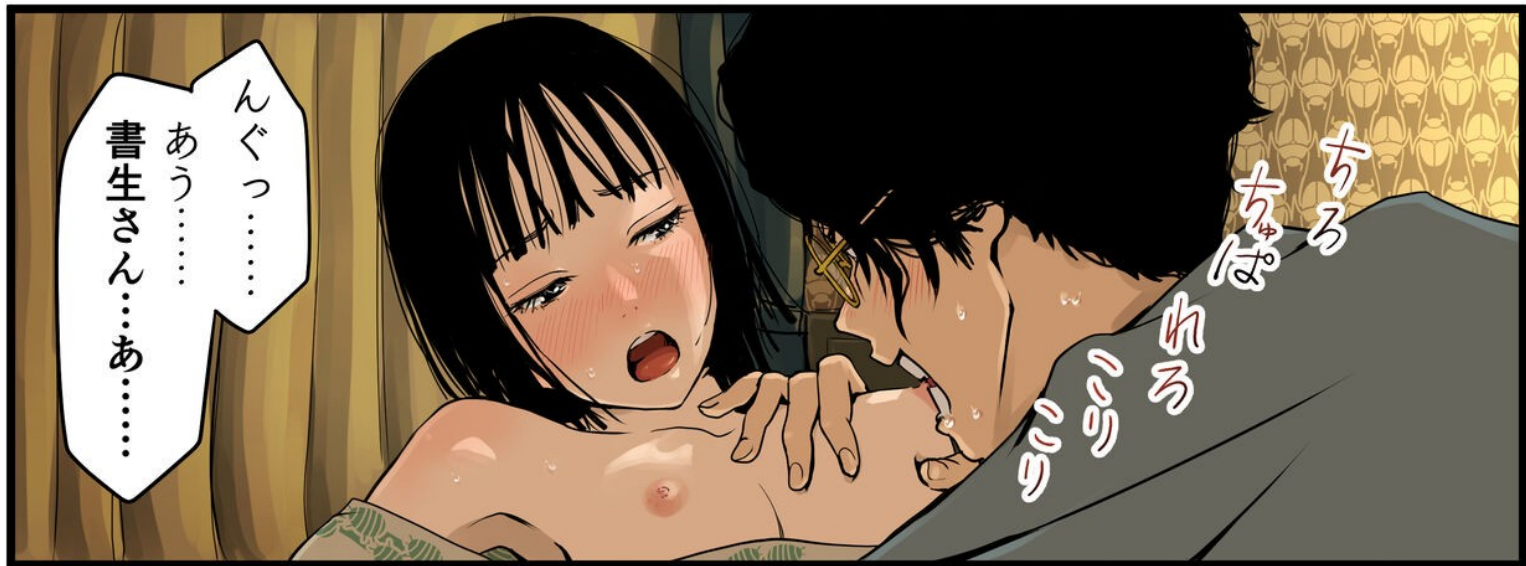
……

つる

ガハハ







んぐっ……
あう……
書生さん……あ……

ちろろ
ちゅば
ゆる
ころり
ころり



お……
奥さまのお休みに
なってる傍で……
こんな……

かまやしないよ
むしろ刺激的じゃあ
ないか



ああ……

ほら……
もうここが
熱くて熱くて
堪らないんだ
その口で
冷ましておくれ

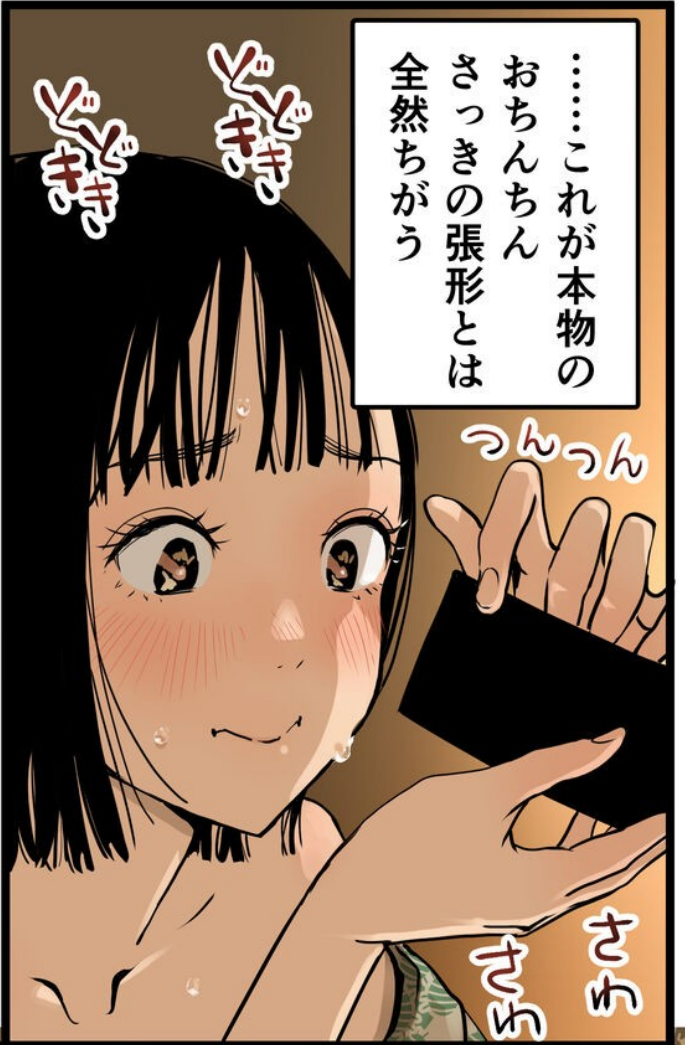
ああすごい……
はち切れそう……

むきっ
どっくん
どっくん



ちろちろと
舐めたり

奥さまが
三河屋さんに
していたように



……これが本物の
おちんちん
さっきの張形とは
全然ちがう

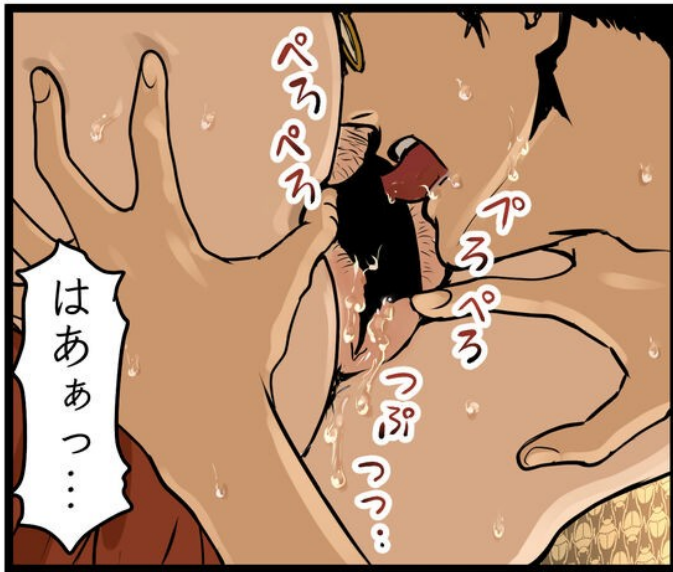
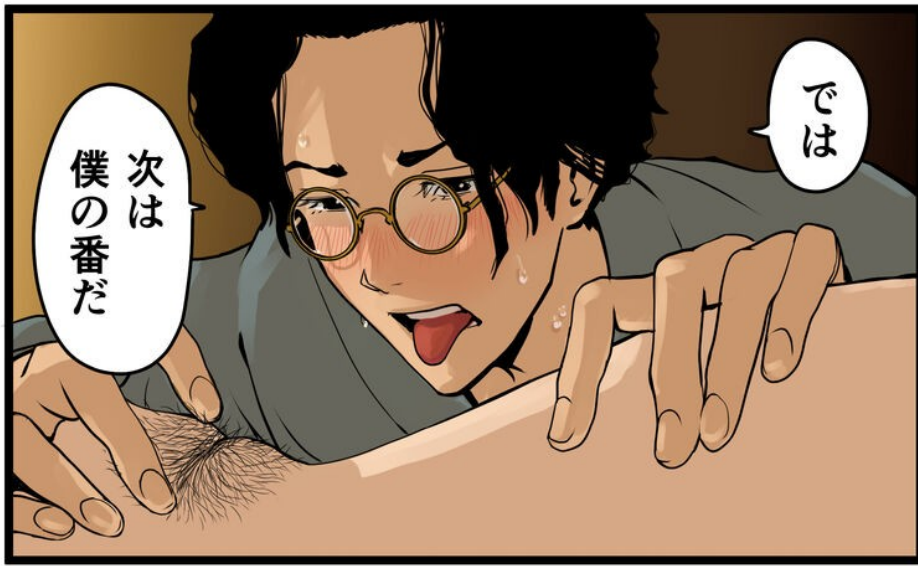


めいっばい
吸い上げたり



ああ…
こうしていると

書生さんの
おちんちんがなんだか
とてもいとおしい





挿入して
仕舞うよ

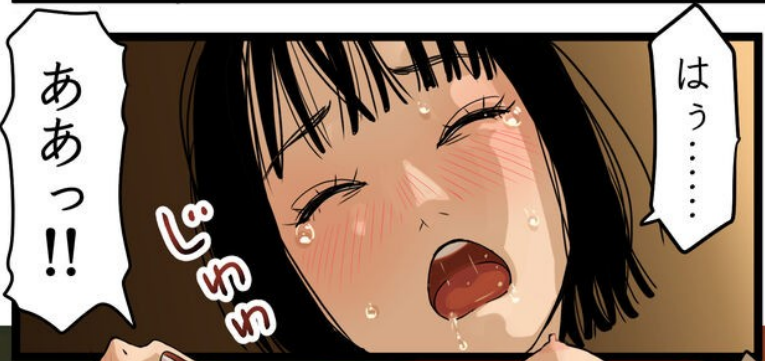
かっはっはっ

駄目だっ……
もう我慢できない



ああ……
そんな……

ずぶぶぶ
っぶ



ああっ!!

じゅん

はう……



ふぐ……

じゅん



ぢゅん

ぢゅん

ぢゅん



ああっ

ずんっ
そんなっ

ずんっ
こんなのって……

すっ凄い

奥に…奥にっ

ずんっ

ずんっ



ずず
んっ

あああああっ!!

当たるっ
気持ちの良い処に
当たるっ!!

ずず
びゅっ
びゅる
びゅる



少し角度を変えて

ずんっ



此・処・ら・を
擦り上げるのは
どうだい…?



あ...あ...
 そっそんな速くされたらっ
 ん.....



うは...
 ...

びぐん

びぐん

感じる



体の奥で.....

書生さんのおちんちんを

あああああああああ

ぐわわ

ぐわわわわわわわわわわわ

あ

ずん

いっ...
 いくつとくつ

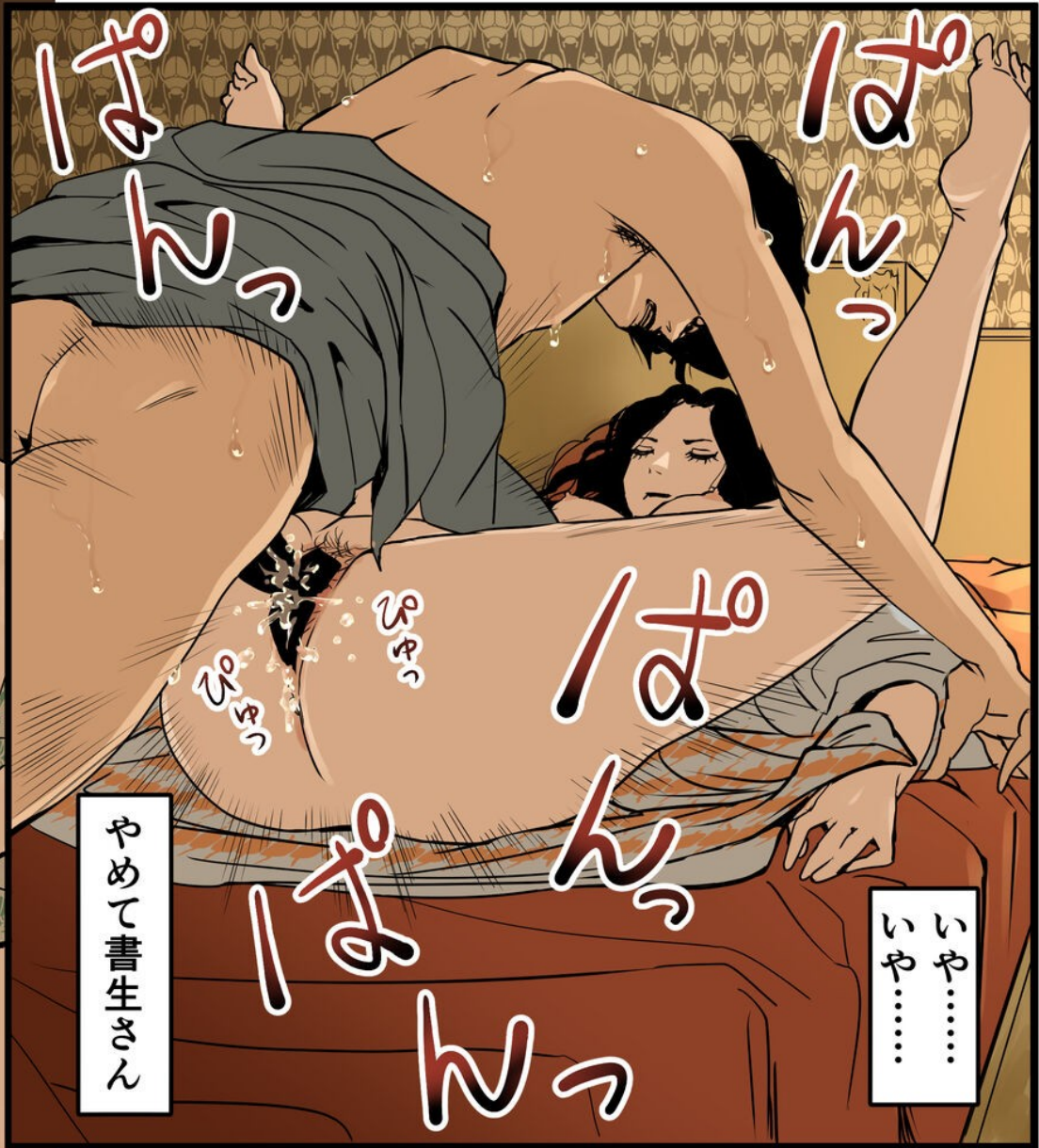
ちゅちゅ
 ちゅちゅ







そのおちんちんは
私だけのもの……



やめて書生さん

いや……
いや……



他の女に
使われるくらいなら

私が食べてやる……



かぶ

かぶ



もぞ



あぁ……
逃げ出したのは一匹
だけでなかったんだ

……何時の間にか……
私に……も虫……が……



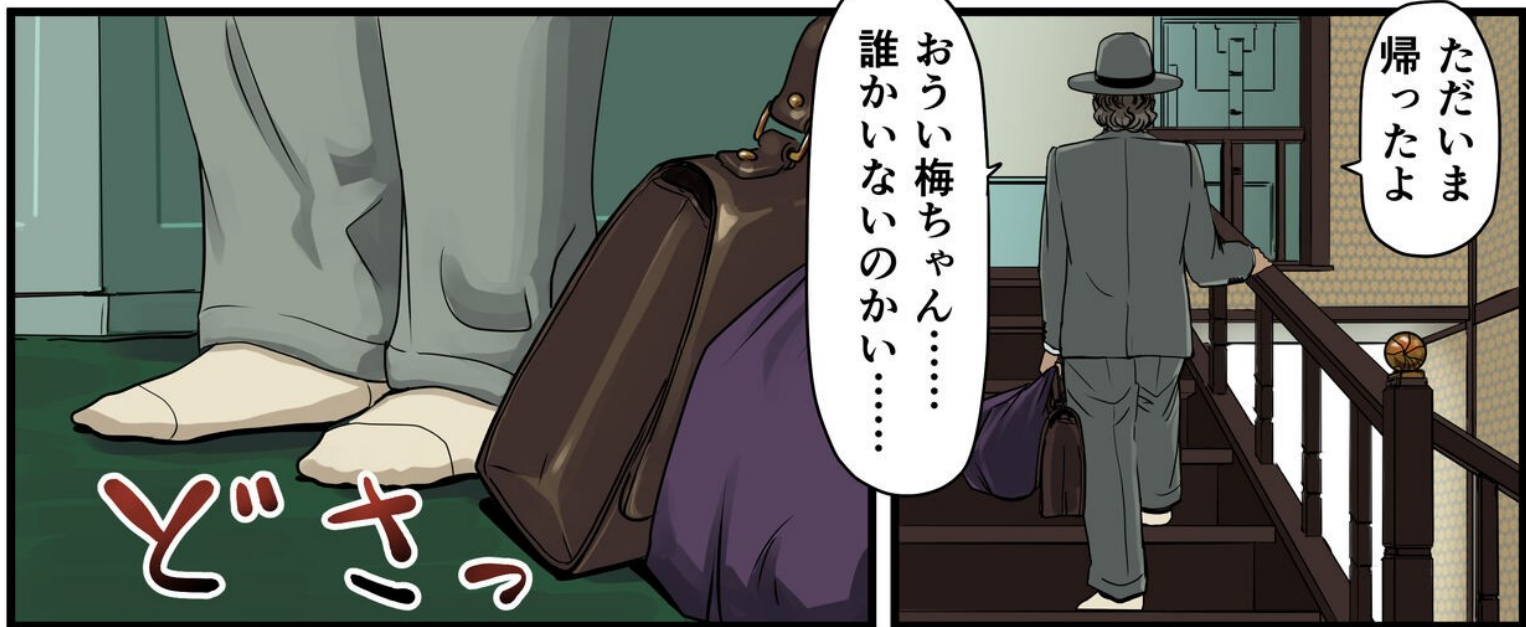
もぞ

ぶっ……



ぶっ……

……え



オヤジエロ

